

# 農業系だより

2017.5.22発行（利根実業高校農業系だより） No 2（第085号）

## 農業クラブ総会開催！

5月11日（木）に、クラブ員239名が参加し体育館で開催されました。クラブ役員より行事報告や予算報告等の議案が提出され、満場一致で議決されました。

挨拶の中で、和田将哉会長（3A2川場中出身）は、「クラブ員が一丸となり、昨年に負けない日本一の農業クラブを目指して頑張りましょう！」と力強く抱負を語りました。

また、今年のスローガン『Challenge & Victory』をクラブ員全員で声高らかに唱和しました。



## 春のファームフェスティバル開催

4月29日（土）に『春のファームフェスティバル』が開催されました。当日は晴天に恵まれ、約千人の来場者がりました。3年生が中心となり、生物生産科では野菜苗、グリーンライフ科では花壇苗や樹木苗などの販売をしました。

生物資源部部長の金子亮太さん（3A1利根中出身）は、「早朝から大行列に驚きました。自分たちが育てた苗を笑顔で購入していただき、とても感動しました。」と感想を話してくれました。



## 沼田市緑のカーテンづくり事業に参加

5月14日（日）に沼田市役所東原庁舎で開催された沼田市『緑のカーテンづくり事業』に生物資源コース2年生6名がボランティア参加し、市民へのゴーヤ苗の配布を手伝いました。

当日は横山市長もお見えになり、生徒のボランティア活動を激励していただきました。

竹之内みなみさん（2A2昭和出身）は、「私達の育てたゴーヤ苗を、市民の皆さんにエコ活動として利用していただき、とてもありがたいことです。」と感想を話してくれました。



## 幼稚園・小学校との交流授業始まる！

5月になり、幼稚園・小学校への交流事業が始まりました。生物生産科では升形小学校（お米栽培）や沼田東小学校（トマト栽培指導）、グリーンライフ科では利南幼稚園（花プランタづくり）で行いました。

交流授業に参加した児玉達明さん（3A2薄根中出身）は、「野菜栽培を通して、小学生に『食』について興味を持ってもらいたい。」と感想を話してくれました。





# 農業系だより

2017.5.23 発行 (利根実業高校農業系だより) No 3 (第086号)



関東地区代表と岡山県代表

## 平成 29 年度 日本学校農業クラブ連盟



## 春季代議員会に出席



5月15日(月)~17日(水)、国立刈刈<sup>レ</sup>ッ記念青少年総合センター(渋谷区神園町)にて、平成29年度日本学校農業クラブ連盟春季代議員会がおこなわれました。本校より、日本学校農業クラブ連盟常任理事・群馬県

連会長・利根実業高校農業クラブ会長を兼務する和田将哉君(3A2川場中出身)が出席しました。

本会は、全国49地区の代表が一堂に集まり、本年度の日本学校農業クラブ連盟の行事や各都道府県連盟から提出された議題について議論・承認する大変重要な場です。書記を務めた和田君は、2日間、議事録を作成し、報告しました。



高山伸哉前会長の挨拶

「全国の農業クラブ代表役員との交流をとおり、各地区でリーダーシップを発揮している農業クラブ員の活躍が分かりました。全国での取り組みを参考に、利根実業高校、群馬県連の発展に努めていきたいです。」と和田君は熱く語ってくれました。

また、代議員会開式の挨拶では、平成28年度日本学校農業クラブ連盟



事前指導を真剣に受ける常任理事

会長を務めた、本校森林科学コース出身の高山伸哉君(東京農業大学国際食料情報学部食料環境経済学科1年生・川場中出身)が「本年度は、全国大会が岡山県で行われます。理事や代議員を務める役員の皆さんを中心に、桃太郎物語に登場する犬・キジ・猿のように、各々がしっかりと役割を果たし、昨年度の大阪大会に続き、岡山大会を大成功へと導いてください。応援します。」とエールを送りました。

利根実業高校の皆さんも、岡山大会への出場・最優秀賞入賞を目指し、6月より始まる県大会に向け、張り切っています。

## たくみの里イベントに出店!

## 「20世紀に造られた自動車・オートバイ物語 2017」

みんなで会場を  
盛り上げました!!



5月21日(日)、「たくみの里」豊楽館第2駐車場(みなかみ町須川)にて催されたイベントに本校が出店し、生物資源より野菜苗・鶏卵、食品文化より焼菓子、生活環境より草花の各生産物を販売しました。本イベントは、本校が参加する地域の催しでは、最北にて行われるものです。今年もフェラーリ等のスーパーカー、マツダコスモ等の国産名車、二輪車、計約80台が集まりました。

井上菜南日さん(2A2利根中出身)は「滅多に見ることのないお洒落な車が沢山訪れ、新治地区の趣のある家並みや農山村風景に彩りを添えていました。今後も地域の発展に向け、色々な催しに精力的に参加したいです。」と地域振興への想いを語ってくれました。



委嘱状を授与される和田君